

発見! 「さい」体験みつげ 庄原さとやま博

開催中



ファイナーレまで 残り1カ月を切りました!

商工観光課 ☎0824-73-1177

庄原さとやまオープンガーデン開催!

しょうばら花会議庭主部の個人宅の庭を一般に公開する「庄原さとやまオープンガーデン」が10月3日〜9日、開催されました。

今回は、新たに7庭が加わり、18庭が公開。この期間中、県内外から延べ1万5千人が訪れ、庭巡りを楽しみました。10月5日には見学バスツアーもあり、キャンセル待ちが出るほどの人気でした。

見学者からは「手入れが行き届いた素敵な庭を見せてもらいうれしかった」「庭主の皆さんの心のこもったおも



てなしと楽しい会話でとても癒やされた」といった喜びの声が多く聞かれました。

今回初めて参加した庭主の堤由美子さん(西城町)は「庭を通して多くの

人と交流でき、情報交換することで勉強になった。これがきっかけでバラ仲間も増えた。これからも自分らしいバラの庭を作っていきたい」と声を弾ませていました。

地域活性化へ弾み

しょうばら花会議事務局の試算では、この7日間での周辺観光施設および飲食店への経済波及効果が1、100万円を超え、市民主導による取り組みが観光地としての魅力をアップさせるだけでなく、地域活性化に大きく貢献することが実証されました。この結果を弾みに、今後の取り組みへつなげていきます。

第2回さとやまガーデニングコンテスト

9月26日〜10月9日の期間、市役所市民広場で「さとやまガーデニングコンテスト」が行われました。

今年は、ハンギングバスケット部門で48作品、コンテナ部門で21作品と昨年を上回る



応募作品が集まり、10月7日に優秀作品が決定しました。

審査は、見学者による投票(294人)も反映され、ハンギング部門では8作品、コンテナ部門で6作品がそれぞれ入賞しました。

しょうばら花会議副理事長の斉木義信さんは「今年は、中学生から86歳の方まで幅広い年齢層から出展をいただいた。見ごたえのある大作が多く出展され、審査会でも『去年よりすぐレベルが上がっている』『作品から庄原

をイメージできてうれしくなる』など、どの作品も好評価だった」と取り組みの成果が現れていることに喜びを語っていました。

しょうばら花会議は、参加する人が楽しいこと、それが地域の活性化や社会貢献へつながることを目指しています。庄原に住む多くのガーデナーの力が町を元気にする源になるよう花を育てる活動を続けていきます。

興味のある方は、しょうばら花会議事務局(商工観光課☎0824-73-1178)までご連絡ください。

コンテスト結果(敬称略)		
ハンギング部門	金賞	桐原つゆ子(東本町)
	銀賞	祢宜ひとみ(板橋町)
	銅賞	加藤 武子(中本町)
	審査員特別賞	佐々木帛代(川手町)
コンテナ部門	金賞	立目恵津子(西城町)
	銀賞	寺迫美智恵(本町)
	銅賞	名越 恵理(東城中3年)
	金賞	萩原 博武(東本町)
	銀賞	森久 光子(市町)
	銅賞	平岡 慶子(中本町)
		岸 千代子(市町)
		三上 敏枝(西本町)
		滝川 紀子(比和町)
		貝崎 若子(東本町)

開催 地域づくり連携サミットin庄原

中山間地域における食と観光

11/25・26

原市内の取り組みを発表します。2日目は、実際にフィールドで庄原を体験してもらい、食と体験のおもてなしツアー(高野町コース・東城町コース)を実施します。

庄原にある地域資源やさとやま博で培ったノウハウを次へ活かし、機会をチャンスに変えるヒントが盛りだくさんです。誰でも参加が可能ですのでぜひご参加ください。

地域づくり連携サミット

11月25日(金)13時30分〜17時30分

ところ 庄原市民会館

※サミット終了後18時30分から国営備北丘陵公園内展望レストラン「くにかね」で交流会が開催されます。

■基調講演 13時45分
「ゆずを中心とした馬路村での地域活性化の取り組みについて」



高知県馬路村農業協同組合代表理事 東谷望史さん

■専門ミニ講義 14時45分
「地域資源を活かした食品加工機能性と高付加価値化の面から」
武藤 徳男さん(県立広島大学生命環境学部長)

「観光まちづくり、風土を巡るツーリズム」国内の取り組み事例」
井口 梓さん(愛媛大学法文学部人文学科観光まちづくりコース(観光文化系)特命准教授)

■リレートークセッション

15時35分

テーマ 中国地域の先進的取り組みと庄原市内の取り組み

●着地型観光の実践「みつげ体験」の発見ー庄原さとやま博」
●庄原元気化プロジェクト庄原産鉄板グルメ「庄原焼き」
●県立広島大学の地域連携「しょうばらいうブランド」

●地域デザインセンター「大山王国」
●農工商連携ブランド化「うんなんスパイスプロジェクト」
●産官学民連携商品化ブランド「つやま夢みのり」
●農村女性加工企業グループ「企業組合うつつ工房」

食と体験のおもてなしツアー

とき 11月26日(土)9時

東城町コース

東城町の古いまちなみ散策と室礼体験ができます。

高野町コース

農業体験と田舎料理が味わえます。

■問い合わせ
○サミットおよび交流会に関する中国経済産業局総務企画部企画担当 ☎082-224-5626
しょうばら産学官連携推進機構 ☎0824-72-2121
○食と体験のおもてなしツアーに関すること
庄原市観光協会連合会 ☎0824-75-0173

おすすめ体験メニュー紹介

「おもてなしの心を学ぶ季節の室礼体験」
竹屋饅頭本舗の離れで季節の室礼を楽しみながら、お辞儀の仕方やお菓子のいただき方など、和室でのマナーを学びます。

とき 11月18日(金)
13時〜16時(所要時間1時間〜1時間30分)

ところ 竹屋饅頭本舗離れ(東城町)

料金 1人600円(竹屋饅頭とお茶付き)
定員 1〜15人



庄原さとやま博のお問い合わせ、体験メニューのお申し込みは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室(☎0824-75-0173)まで。
ホームページアドレス
<http://shobara-satoyama.jp/>